



〈雜錄〉金融界ニ於ケル仲立人：銀行家, 手形仲立人, 株式仲買人, 株式賣売人, 信託會社及募債仲立人ノ職分論

高島, 佐一郎

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 15(1):116*-132

(Issue Date)

1913-07

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052061>



金融界ニ於ケル仲立人

(銀行家、手形仲立人、株式仲買人、株式賣買人、信託會社及募債仲立人ノ職分論)

商學士 高島佐一郎

本篇ハ F. E. Steele 氏ノ一雄篇 “The ‘Middleman’ in Finance” (“Economic Journal”)ニ所載、氏ノ論文集 (“Present-day Banking”)ニ收録サレタモノノ譯文デアル、謂ハユル翰取的ナル倫敦金融界ノ仲介業者ノ地位職分ヲ論シテ餘蘊ナシ氏ノ特長ハ、其論文ノ多クニ表ハレテ非ル如ク平明ノ文調ヲ以テ辛辣ノ批判ヲ行ルト同時ニ、常ニ目的ノ兩端ヲ敲イテ中正ナル結論ヲ結構シ、何處マデモ實際家流ノ建設的ナル態度ヲ失ハヌ點ニアル、他山ノ石トシテ好箇ノ資料ヲ供

スルヲ思ヒ、即チ一餐ヲ勸メル所以デアル。乍序、倫敦金融ニ就テ研究スルノ士ガ、"Straker"ノ"Money Market"ニ啓キ、Bagehotノ" Lombard Street"ノ透徹セル批判的ナルナ賞味シ、亞チClareノ"Money Market Primer"ノ或批評家ノ言ヲ藉リテイヘバ、其名ニ似ズ著ク理論的ナルナ飽食シタル後、驪テ英國金融ニ關スル最近思潮ノ興味アル、性質上組織的ナラザルモ、變化アル消息ニ接セントセバ右Steele氏ノ論文集ハ確ニ其需要ニ背カヌモノデアラウ。因ニ脚註ハ譯者ノ補足スル所ノモノデ手近ノ參照書目ヲ掲ゲタモノデアル。

(一)緒言

憎マレ子世ニ憚カル、仲介業者ガ今尙殘存シテタル事實ハ慥ニ此俚言ノ眞ナルコトヲ裏書スルモノデアル。其或一部ニ於テハ時代トイフ潮流ニ抗シ得ズシテ漸次其地歩ヲ失フテキルケレド、金融界ニ於テハ雷ニ然ラザルノミナラズ、却テ或郷域ニアリテハ漸次其地盤ヲ鞏固ニシテ行ク。然カモ是レ諸々ノ批難ノ矢面ニ立チテデアル、例ヘバ銀行家ノ如キ是デアル、彼等ノ缺點

ハ到底匡救、改善シ得ヌカラ、寧ロ中世ニ於ケル如ク、各自ノ金ハ各人自ラ保管シタ方ガヨイトマデ極言セラレタコトモアツタガ、依然トシテ盛ニ活躍シテキル、一年タリトモ銀行家ハ其職分ヲ増加シ其勢力範圍ヲ擴張セズシテ無爲ニ過スコトハナイ、商業ガ不景氣デモ農業ガ不振デモ尙充分ナル配當ヲ續ケル。又手形仲立人ニシテモ一部ノ人カラハ銀行家ニ更ニ不必要ナ附屬物ガ出來タ如ク看做サレ「食倒シノ食倒」"the parasite of a parasite"トマデ綽名サレテ居ルガ尙其極メテ専門的ナ熟練シタ力ヲ振フノ機會ヲ隨所ニ見出シテ居リ、若シ公表サレシ計算書ヤ重立ツタ割引商店ノ配當カラ判斷スルト仲々廢減スル氣色ダモナイ。又株式仲買人ニシロ株式賣買人ニシロ、過去久シク批難攻撃ノ傷手ヲ忍バナケレバナラナカツタガ、大體ニ於テ不景氣ノ聲ニモ關ラズ相當ノ收入ヲ贏得シ、倫敦株式取引所會員ノミニテモ(故 Arthur Ellisガ一時

株式取引高ノ大ニ減少セシ際ニ作成シタル概算

ニヨレバ、毎年四百萬磅ノ益金ヲ其間ニ配當シテキタトイフコトデアル。金融仲介業者ノ其他ノ者ニ就テモ又然リデアル、千八百九十年後一時殆ド其跡ヲ絶ツタ所ノ金貸業者ヤ信託會社發企業者モタダ暫時ソノ姿ヲ隱シテキタニ過ギズシテ今ヤ奇麗ニ掃除ノ出來タ古巢ニ再ビ舞ヒ戻テキル。今吾人ガ研究セントスルノハ此等種々ナル金融界ノ仲介者ノ存在理由及其效程ニ關シテデアル。彼等ノ活動ノ結果ハ果シテ利益アリヤ。即チ吾人ハコレヲ仲介業者ノ人體ニ免レ能ハザル疾病ノ如ク、經濟上ノ害毒ノ大半ハ仲介業者ニヨリテ惹起サレト認ムル人々ト見解ヲ共ニスベキカ、又ハ彼等職分ノ履行ハ要スルニ分業主義ノ正當ニシテ且利益アル適用ヲ爲スモノトシテ是認スル社會一部ノ人々ニ同ズベキヤヲ論定セムトスルモノデアル。

(二)銀行家

純金融ノ領土ニ於テモ仲介者ハ變幻自在ノ神Proteusノ如ク種々ナル形體ヲ取ルノデアルガ、其種々ナル變裝中ニテモ銀行家ナル假裝ハ恐ラク最モ目慣レタモノデアロウ、而シテ此場合ニハ攻撃モ一番少ナイ。英國ニ於テ銀行家ノ營ム千種萬態ノ仕事ハ別トシ、今日銀行家ノ最重要ナル經濟上ノ職分ト看做サレテキル、之ヲ有利ニ運用スルコトノ出來ヌ人々ノ金ヲ受入レ使用法ヲ心得テ居ル少數ノ人ニ貸出ストイフ、職分ノミヲ觀察批判スルコトニヨリテ、之ガ存在理由ヲ論定スルコトガ出來ヨウ。一方ノ手デ銀行家ハ各所持人ノ手元ニ不生産的ニ散リヂリニ貯ヘラルベキ零碎ノ金ヲ一ノ纏リタル資金ニ集メ片手デ之ヲ有利ニ運用スルノ方法ニ通ゼル人々ニ貸出スノデアル。彼ノ銀行家ノ仲介ニヨリ一階級ノ人々ハ殘餘資金貯藏ノ勞ヲ除カレ、他ノ階級ノ人々ハ之ヲ得テ生産的の使途ニ差向ケル、斯

クテ借受人モ貸附人モ共ニ利益シ銀行自分モ其
鞘ヲ收メ全社會モ從テ此信用ノ媒介者アルニヨ
ツテ福利ヲ受ケル。

斯ク言ヘバ銀行ノ地位ハ鞏固ナルモノデアル
ソレニ他方面ニ於ケル種々ナル勞務——總テノ人
ガ熟知シテキルカラ詳述スル必要ハナイガ——ヲ
之レニ加ヘルト、若シ銀行ノ缺點ニシテ此レ等
否定スベカラザル利益以上デアルトイヘバ、ソ
ノ組織ノ缺點ハ實ニ重大ノモノデアラキバナラ
ヌ。又吾人ハ茲ニ有ユル銀行業務ヲ不能ナラシ
ムルガ如キ社會主義的反對、又ハ銀行政策ノ偶
發的及派生的細目ニ亘テ論議セントスルノデハ
ナイ、吾人ノ觀察セントスルノハ銀行ノ主タル
職分、即チ仲介者トシテノ職能デアル、更ニ詳
言スレバ茲ニ指摘セントスル眞ノ缺點ハ之ト直
接ノ關係アル。事項デアル。銀行業ヲ論議スル
人々ハ今日英國ニ於ケル該業ニ就テ別段大ナル
缺點ヲ見出サズシテ、唯ダモウ一步進ンデ遣テ

貰ヒタイトイフ、今日上中流階級ニ對シテノミ
營ム仕事ヲ、更ニ進メテ一般民衆ニ推廣セシメ
タイト提唱シ、國民トシテ吾人ハ我ガ銀行業ノ
高度ニ發達シタノヲ誇テ居ルガ、實際平民のナ
ル銀行組織ニ就テハ、カノ通商、金融ノ組織、
經營ニ就テ遙ニ吾人ノ後輩ナリト認メラレテ
北米合衆國ニ餘程劣テ居ルトイフ。

カウイフ批難——之ハ明ニ一部ハ蘇國ニ於ケ
ル保證貸附組織“Cash Credit” systemノ成功ニ
又一部ハ歐洲大陸ニオケル人民銀行“People's
Banks”ノ設立ニヨリ、同様ナル方面ニ於テ得
ラレタル利益ニ根底シタモノデアルガ——ハ輕
々看過スベキモノニアラズシテ、此主張ノ裡ニ
ハ多大ノ眞理ガ包藏セラレテキル。上中流階級
ノ依頼人ノ立場カラ觀タナラバワガ英國現時ノ
銀行業ハ事新シク希望スル餘地ハ稀メテ少ナイ
支店組織ノ偉大ナル發展及ビ之ニ附隨スル有
ル利便ハ預金者ガ望ミ得ルダケノ便法ヲ當然ニ

享ケシメルノデアル。タダ倫敦ニオケル借受人ノ不平ヲ唱ヘル小ナル不便トイフノハ、必要額丈ケ割賦デ引出スノニ、カノ“the Tweed”北以北ノ地デ行ヘルガ如ク日々ノ借方金額ニ對シテノミ利子ヲ支拂フコト能ハズシテ、時々少額宛引出セバ足ル資金ヲ纏メテ一時ニ借受ケ其全額ニ對シテ利子ヲ支拂ハチバナラヌトイフコトデアル。乍併普通銀行ガ融通スル階級以下ノ勤勉ナル社會ノ下層ニ就テ觀察スレバ吾人ハ果シテ如何ノ現象ヲ發見スルカ、コユニアリテモ預金者ハ可成満足ナ狀態ニアル、貯蓄銀行——即チ郵便貯金局及信託業者——アツテ其貯蓄ヲ保管シ可成ノ利息ヲ附スルノミナラズ又其他ノ便益モ與ヘテ居ル、併シ同階級ニオケル借受人又ハ借受人タラントスル者ニハ左程ノ便宜ガ計ラレテキナイ、勤勉デハアルガ貧ニシテ銀行勘定ヲ開キ得ナイ小農又ハ小商人ナドイフ人々ハ現在ノ、運用資本ニ少額ノ金ヲ足シサヘスレバ手カ

ラトイフヤウナ職業ヲ比較的有利ナルモノニ改善セシムルコトガ出來ルカモ知レス、普通ノ銀行業ハソコマデ手ヲ延バシテハ呉レス、又ソナ些細ナ需要ニハ應ジテ居ラレス、ヨシ應ジタニシテモ何カ擔保トイフタヤウナ形式ヲ要求スル、然ルニ一方デハソナモノヲ提供スルコトハ出來ス。官立貯蓄銀行ノ組織モ其助ニハナラヌ、蓋シコレヲノ銀行ノ業務ハ根本的ニ一方的ニシテ預金ハ受入レルガ貸出スコトハ絶對ニ禁止サレテキル、シカモ此制限ハ至當ノモノデアルカラ致方ガナイ、斯ウナルト、我ガ英國ニハ此處ニ殆ド仲介業者ノ新シキ形式ヲ創設スベキ未ダ開拓セラレザル田地ガアル、仲介者、寧ロ地方的の仲介者ノ組織の團體が必要ニナル、其仕事ハ其町又ハ田舎ニ在住シテキル下層階級ノ人々ニ小口貸附ヲ爲シ其勤勉ナル人々ノ農工業ヲ獎勵スルコトデアル、而シテ其目的ニ使用スベキ基金ハ一部分ハ同階級ノ人々ノ貯蓄ヨリ得他

ハ他ノ現在ノ銀行カラ得ルノデアル。若シ斯卡
ル組織ノ作用方式 “modus operandi” ニ疑ヲ挾
ムナラ、又ハ一層詳細ナ消息ヲ望マレルナラバ
獨、伊其他大陸諸國ニ於テ其方面、其田地ニ大
規模ノ勞作ヲ加ヘテキル銀行ノ事業報告ナド容
易ク手ニ入レラレルカラ之ニ依ルガヨイ、是レ
實ニ Schulze Delitzsch 式又ハ Reifeisen 式等ノ
信用組合ノ組織ヲ基礎トセル人民銀行デアル。

(1) 此等ノ諸國ニテハ此組織ガ謂ハユル “Made in
Germany” トイフ。當然ノ割引アルニモ拘ラズ、實
際安全ニ運用サレ得ルコトヲ示シテキル。此組
織ハ其機能ガ特ニ下層社會ニ適合シテキルノデ
非常ナル利便ヲ與ヘ且現存ノ銀行ノ營業ヲ妨ゲ
ザルノミナラズ此等人民銀行ガ小口借受人ニ貸
出ス資金ノ一部ハ普通銀行カラ得來レルモノデ
アルカラ却テ普通銀行ノ一新財源ヲ提供スルモ
ノデアル、而シテ此最後ノ點、即チ新財源トナツ
タトイフ事ハ此組織ガ英國ニ行ハレ得ルヤ否ヤ

ヲ論定スルニ當リ特ニ注意スル價值ガアル、如
何トナレバ英國ノ巨額ナル且ツ年々激増シツ、
アル預金ノ安全有利ナル使用法ハ今日銀行家ノ
考フベキ一ノ重要ナル問題デアルカラデアル。
銀行家ニ關シテ上來說來レル所ヲ摘記スレ
バ、今日ノ社會、經濟組織カラ觀レバ其地位ハ安
定ナリト言ヒ得ル、其營業方法ノ或點ニ於テハ
多少批難ノ餘地モアルケレドモ、ワガ銀行家ノ
行フテタル所ノ周旋^{ゾツ、ゾワイセ}ノ勞務ハ、上述セル如キ、
間接ニ銀行ヲ扶翼スルト同時ニ直接ニモ今日彼
ガ勞作シツツアル所ヨリ更ニ廣大ナル範圍ニ利
益ヲ擴充スル如キ方法組織ヲ以テ之ヲ扶助シ之
ヲ補足スルノ必要アルコトヲ思フノデアル。

註、(1) H. C. Devine, People's Co-operative Banks, chap. VI,
VII.

(二) 手形仲立人

本研究ニ於テ理論上銀行家ノ次ニ位スベキ手
形仲立人ハ極端ナル専門主義ノ近世的傾向ヲ示

スモノデアル。前節ニ於テハ判明ヲ期スル爲ニ銀行家ヲ以テ一方ニ貸金者、他方ニ借受人ヲ有セル鎖ノ仲ノ輪ヲ作セルモノトシテ表ハシタ、併シ實際ニ於テハ手形仲立人ガ更ニ附隨的輪環ヲナシ、其地位ハ恰モ銀行家ト商業的借受人トノ間ニ在ルノヲ發見スルデアロウ。門外漢ニハ金融界ニ於テ大規模ナル手形割引業ガ銀行業ト相併ビテ一箇嚴然タル専門ノ業トシテ存在スルヨリモ不思議ナ謎ハ少ナイデアロウ。手形割引ハ明ニ認メラレタル真正ナル銀行ノ職分ノ一デアル、然ルニ銀行家ニアラザル多數ノ個人及會社ガ之ニヨリテ生計ヲ立テテキル、不可思議ハ獨リ是ニ止マラズシテ手形仲立人ヲシテ此専門業ニ於テ銀行家ト充分競争シ得シムル資金ノ大部分ハ、實ニ銀行自身ガ容易ニ回收シ得ラルルヤウニシテキ子バナラヌ資金ヲ低利デ仲立人ニ貸出ス所ニ係ルトイフ事實デアル⁽²⁾。併シ此説明ハ困難デハナイ。手形割引ヲ爲スニハ割引依

賴人ノ信用ノ程度ヲ熟知スルコトガ必要デアル。即依賴シ來レル手形ノ引受欄ニ名ノ出テキル個人又ハ會社ノ信用ニ通曉シテヲ子バナラヌ。サテ此手形當事者ノ信用地位ヲ調査スルトイフコトハ銀行ノ凡百ノ事務中ノ唯一ニ過ギナイ、反之手形仲立人ニハ之ガ實際唯一ノ仕事デ、從テ此一事ニ注意ヲ集中スルニヨリテ高度ノ専門的ナル智識ヲ得、如何ナル手形ハ確實ナルカヲ熟知シ之ヲ恰好ノ條件ヲ以テ割引スル、斯ノ如クシテ割引セラレタル手形ハ普通銀行ニテ再割引セラレルカ又ハ借用金ニ對スル擔保ニ供セラレルカラ手形仲立人ハ二重ノ仕事ヲ爲スノデアアル。商人ハ低廉ナル割引歩合ニ喜ビ銀行ハ再割引又ハ貸金ヲ爲シテ收益シ、仲立人ニヨリテ餘分ノ現金ヲ短期間貸附ケルトイフ好箇ノ通過口ヲ見出ス。仲立人ガ割引スル歩合ト、ソレヲ自ラ再割引スル歩合トノ鞘ハ仲立人ノ所得ニシテ自己ノ損失デアルカラ若シ自ラ直接ニ其取引ヲ

行へば之ヲ免レ得ル如キモ實際ノ經驗上銀行ガ
仲立人ノ保證ニヨリ免ルル手數ト責任、及ビ仲
立人ノ活動ニヨリ——サモナケレバ全然銀行家
ノ手元ニハ入り來ラザルベキ——多數ノ手形ガ
入り來ル事實ニヨリ其損失ハ償ハレテ尙餘リア
ルモノデアル⁽³⁾。

勿論此組織モ批難ハ免レナイ、銀行家自ラ不
平ヲ唱ヘ多數銀行ガ合同シ其附屬ノ割引會社ヲ
設ケ一方ニ於テ失フ所ヲ他方ニ於テ補ヘトノ提
案モサレテキル。又英蘭銀行モ亦仲立人ニ對シ
テハ不斷ノ不平ヲ持ツ、ソレハ同行ハ他行ト異
リ自ラ仲立人ノ勞務ヲ利用スルトイフ機會ハナ
イ、然ルニ經濟界ノ激浪高ク天ニ朝スル如キ場
合ニハ、多額ノ貸金ヲ許シテ仲立人ヲ救済スル
コトヲ要スルカラダ、去リナガラズカル内部ノ
利害ハ吾人ノ關スル所ニアラズ、爰ニ說カント
スルハ總テノ方面中、事ノ公共ニ關スル點デア
ル、社會全般ニ對スル影響トイフ立場カラ觀察

スレバ、手形仲立人ノ役割ハ大體ニ於テ有益ナ
モノト思ハレル。唯ダ仲立人ガ中心人物トナツ
テ居ル總テノ組織ニ於ケルガ如ク又弱點モアル
其重ナルモノハ上述セル如ク金融上ノ不安不健
全ナル時期ニ行動スル彼等ノ態樣デアル、自ラ
ニ積立金^{レザリツ}ヲ有シテ居ラスカラ、又積立金ヲ保有
スルノ餘裕ナキガ故ニ⁽⁴⁾、而シテ斯カル場合ニ
ハ、取引銀行ハ其貸出資金ヲ回收スルガ故ニ、
今度ハ中央銀行ノ準備金ニ影響ヲ及ボシテ遂ニ
金融上ノ旋律ヲイヤガ上ニモ急調ナラシメルコ
トニナル。故ニ手形仲立人ノ實益ヲ論ズルニ當
リテノ實際問題ハ「疑ナク而モ稀ニ發生スル此
組織運轉上ノ危險——乍序此危險ハ銀行ナラザ
ル一般預金者ガ稍々長期間其金ヲ手形仲立人ニ
預入シテオケバ⁽⁵⁾幾分免レ得ルデアロウ——ガ
疑モナク此組織ニ附隨スル利益ト相平均スルモ
ノナルカ」デアル。斯カル問題ハ實際困難デハア
ルガ、其答ハ否定デアラ子バナラスト思惟セラ

レル、蓋シ仲立人ノ勞務ハ其性質上、社會ガ銀行ニ負フ所ノモノヨリ遙ニ下位ニアリ、又金融逼迫ノ場合ニ於ケル補償の危險ガ或程度マデ伴フカラダ。乍併、仲立人ノ此勞務ハ極メテ實際の内容ノアルモノニシテ、其ノ金融界ヨリ全然消去ルコトアラバ必ズ甚大ノ不便ト損失トヲ、其活動ニヨリテ手數ト費用トヲ除カレラル商人竝ニ仲立人ガ賴リテ其生計ヲ營ミ行ケル銀行ニ與ヘルデアロウ。從テ單純ナル否認ハ絕對ニ不可ニシテ金融逼迫ノ際ニモ仲立人ヲシテ尙安全ノ地位ニ居ラシムベキ改善ヲ必要トスルノデア

註 (2) Clare, Money Market Primer, p. 143.

(3) Easton, Banks and Banking, pp. 199—200.

(4) Clare, *op. cit.*, p. 144.

(5) Bagehot, Lombard Street, p. 294.

(四) 株式仲買人及株式

賣買人

今ヤ Lombard Street カラ Capel Court へ轉ジテ吾人ノ注意ヲ惹ク所ノ仲介者ハ其機關ヲ經テ巨億ノ公債株式ノ賣買ガ行ハレル一大階級即チ會員タル “inside” ト會員外ノ “outside” トノ株式仲買人 “Stockbroker” 及ビ株式賣買人 “Jobber or Dealer” デアル。發端ニ當リ若シ株式取引所會員ノヨク言フ、自分達ハ會員タル特權ニ對シ高キ費用ヲ負擔セルニモ拘ハラズ、彼ノ會員ニアラザル仲買人ガ盛ニ廣告シテ或種類ノ仲買業務ヲ著ク蠶食獲取スルニ對シテ廣告ヲスルコトダニ認容サレヌトイフ不平ガアルガ(6)、其正否ヲ研究スルノ餘裕アラバ興味アルコトデアロウ、併シ株式取引所トモグリ仲買屋トノ比較研究ハ本論ニ直接關係ナク、皮肉屋ニハ、アノ “Hesiod” ノ地獄ト “Milton” ノ地獄トノ差異ニ關スル古イ洞ロナ議論ヲ想ヒ出サシメルデアロウ、本論ニハ仲買人ガ取引所會員タルト否トハ全ク無關係ニシテ、公衆ガ株ノ賣買ヲ行フニ當リ仲

介者ハ必要ナリヤ、若シ必要アリトセバ今日賣手ト買手トヲ引合ハセルニ用キラレテ居ル方法ハ果シテ満足ナルモノナリヤ否ヤヲ論ズルノデアル。第一ノ點ニ就テハ議論ハナイ、株式仲買人ヲ省クヨリ、他ニヨリ以上容易ニ仲介的勞務ヲ省除シ得ベキ場合ハ多々存スルノデアル。實際ノ論點ハ仲介者ノ要不要デハナク、明カニ二種ノ仲介者ガ雙方トモ必要ナリヤ否ヤニアル。即チ仲買人、賣買人ハ雙方トモ必要ナルカ、或種ノ仲介者ハ是非ナケレバナラヌ、而シテ株式仲買人ハ公衆ト直接スルモノデアルカラ、爰ニ問題ノ範圍ハ遂ニ局限サレテ賣買人ノ存在理由ヲ研究スルコトニ狹メラレル。今日慣行ノ議論ハ、賣買人ナルモノハ、多クノ場合、己ハ全然仲介者ニアラズ、自己ノ計算ニ於テ株式賣買人ノ衝ニ當ルモノ也トイフ證據カラ自己ヲ此論爭外ニ置カントスル、換言スレバ賣買人ハ全然高キ地位ニ居リ、實際賣買當事者ノ一方デアル、

相手方ハ或ハ賣ラントシ或ハ買ハントスル公衆ニシテ、自己ト公衆トノ媒介ハ仲介人タル仲買人ニヨリテナサレタルノダトイフ。實際多クノ場合、例ヘバ賣買人自身ガ多クノ株ヲ所有セル際ハ此證據ハ正シイモノト爲ル、賣買人ガ賣ル、投資者ガ買フ、而シテ仲買人ハ相互意思ヲ疎通スル媒介者デアル、然シ今少シク大局ヨリ達觀スレバ實際仲介者タルハ賣買人デアル。當面ノ問題ニ就テハ取引所會員間ニノミ行ハル純白ナ投機取引ヲ無視シ、投資取引ノミヲ取テ論ズルナラバ公債、株式ヲ賣買スル公衆ハ賣ラントスル者ト買ハント欲スル者トノ二種類アル。各種類ノ人ハ其目的ヲ遂行センガ爲ニ仲買人ヲ使フ、而シテ株式賣買人ハ各仲買人ガ就イテ相場ヲ求メル所ノ當事者デアルカラ、概言スレバ仲介者ノ地位ヲ占ムルモノハ即チ賣買人タルコトハ爭ハレナイ。

斯ウイフ次第デ吾人ハ茲ニ再ビ株式賣買人ト

相對スル、而モ彼ニ歸セラレテキル罪ハ非常ニ多ク、ドコカラ始メテヨイカ惑フホドデアル。

賣買人ヲ剿滅シ能ハザル理由ナシ、歐洲大陸ノ大取引所ニシテ賣買人ナシデ立派ニ運用ノ效ヲ收メテユクデハナイカ、又投資者ハ仲買人手數料ヲ支拂フ外ニ、復、賣買人ノ賣買利得「jobber's turn」ヲ負擔スル、而モ賣買利得額ハ屢々法外ニシテ其手數勤勞ニ比例シテヲヌストイフコトヲ聞ク、又時ニ株式賣買人ヨリ引渡ヲ受クルノ困難ハ誇張サレテキル、而シテ斯カル不平ヲイフ者ニ對シテハ取引所規則ガアルトイフト、「盜賊間ノ名譽」トイフ主義ノ下ニ違約處分ヲモ賣買人同志ガ團結シテ採潰シテ終フトイハレテル。他ニモ色々抗議モアルガ、是等ハ其代表的ノモノト認メテ差支ナイ、而シテ此等ヲ論議スルニ先チ豫メ述ベテヲカチバナラヌコトガアル。

先ヅ第一ニ大陸ノ取引所^{ブルス}ニ於ケル慣行ハ我々ノ模範タラシムル能ハズトイフコトデアル。近

來、「英人ハ世界ノ乳牛ナリ」トイフ言ヲ聞イタガ、此自然ノ結果トシテ、數量及種類ノ何レヨリスルモ英國ノ取引所ト大陸ノ夫レトノ間ニハ著大ノ徑庭ガアル、手數料二重支拂ニ關シテ不平等ヲ唱ヘル人ハ、商人ノ請求書ニ記載シテアル價格ハ小賣商人ノ利益以外、更ニ倉庫業者ノ倉敷料、銀行ノ課スル利息ヲ含ムトイフ論據ヨリ其支拂ヲ拒ムカ、賣買利得ハ賣買人ノ負擔スル豫見ノ相違錯誤ニ對スル保險料デアル、即チ苦情ノ屢々發生スルノハ所謂親株ノ場合ニ多イ、即チ或種ノ外國公債、米國ノ鐵道優先株ナドイフ買物ガ「コンソル」ノ如ク命ニ應ジテ出テ來ルコトヲ期待スルノハ確ニ合理的デハナイ、ケレドモ、株式賣買人ノ職分ニ對スル價值判斷ヲ試ムルニハ、其缺點ヲ詳論スルヨリモ寧ロ之ヲ全然廢絶セシメタナラ如何ノ結果ヲ齎ラスヤヲ想像シタ方ガヨイ。現今ノ制度ニ於テハ、倫敦株式取引所ハ各種ノ公債、株券ニ對スル市場ニ組

織サレテヲリ、其市場^{マーケット}ヲ形成スル者ハ株式賣買人ニ外ナラヌノデアル。「コンソル」市場、米國市場、英國鐵道市場、鑛山市場トイツタ風ニ區割サレテアリ⁽⁷⁾、或特定ノ株ヲ賣買スベキコトヲ依頼サレタ仲買人ハ、直ニ且正確ニ、何處ニ行ケバ其株ノ相場ヲ唱ヘル賣買人アリヤヲ知ツテキル、是ノミニテモ時ト勤勞トノ大ナル節約デアツテ、賣買人ハ仲買人及投資者ニ對シ、恰モ手形交換所ガ銀行ノ爲ニナスト同様ノ利便ヲ與ヘルノデアル。玆ニ注意セテバナラヌコトハ、賣買人ハ特定ノ市場^{マーケット}ヲ其專門研究ノ壇場トナスニ反シ、仲買人ハ一切ノ種類ノ株ヲ取引スルコトデアル、此點ニオケル此二者ノ關係ハ恰モ手形仲買人ト銀行家ノ地位ニ一部似通テキル。從テ賣買人ヲ廢スレバ賣買ニ當リテハ取引所仲買人ヲ一人一人間合セテ相手方ヲ搜サチバナラヌ而シテ若シ頻繁ニ取引サレヌ株ノ場合ニハ、相手方が見付カラヌ爲ニ其取引ノ纏ルマデニハ長

時日ヲ過ゴシ商機去ル如キ現象ハ實際有リ得ルコトデアロウ、之ニ比較シ賣買人ノ手ヲ藉ラバ數分間内ニ成立セシメ得ルノダ。更ニ此時及便利ノ外ニ價格ノ問題ガアル。賣買人ハ常ニ喜ンデ買ヒ、賣リスル一團ノ人デアル、若シ之ヲ廢シタナラバ直ニ買ントスル人、直ニ賣ラントスル人ハ其目的ヲ達スルマデニ價格ノ點ニ於テ大ナル犧牲ヲナサチバナラヌ、斯クテ價格ノ變動ハ一層繁ク且激シクナルデアロウ。株、商品タルヲ問ハズ、株式取引所、產物市場タルヲ論ゼズ、仲介者ノ最モ明カナル且重要ナル職分ハ價格變動ノ度數及程度ヲ最小限ニ減少シ且賣手ト買手トノ相互ノ意思ヲ疏通セシムルニ當リ最大ナル節減ヲ行フコトノニデアル。此見解正シカラシカ、株式取引所ニ於ケル仲介者ハ多少ノ缺點ハアロウトモ、此二箇ノ役目ヲ果シテ居ルトイフテ差支ナイ、又株式賣買人ニ支拂ハレル賣買利得ハ、株式價格ノ突飛ナル騰落ヲ妨グノ保

障ト有價證券ニ對スル不斷ノ自由市場ヲ提供スル勞務トニ對シ、社會ニヨリテ支拂ハレル報價ヲ示スモノニシテ、是レ總テ完全ナル株式市場ノ最善ノ解説ヲ爲スニ當リ、經濟學者ヲシテ倫敦株式取引所ヲ引例セシムル所以ノ特色ヲ爲スモノデアル。

註(9) J. Burn, Stock Exchange Investments, p. 132, lines 34 ff.

(7) *Op. cit.*, p. 137 ff.

(五) 信託會社

今ヤ更ニ議論ヲ進メテ簡單ニ現在餘リ行ハレテ居マイ、金融上ノ「トラスト會社」(Trust Company) (8)ナル仲介者ニ移ル。吾人ガ十九世紀ノ末葉ニ起リシ信託會社内情曝露ニヨリテ惹起サレタル無差別的否認ノ合唱ニ加ハルニ先チ心ニ留メテヲカチバナラヌ一事ガアル、ソレハ或人々ガ斯ク考ヘテキルカラ斷テヲクガ此種ノ會社ガ全部惡イノデハナイトイフコトデ

アル。總テガ同一ノ繪刷毛デ塗ラレタノデハナイ、信託會社ト一樣ニイフケレドモ種々アル、健全ナ根底ノ上ニ立チ經營宜シキヲ得テ此種會社ノ原始計畫タル高度ニ有益ナ職分、即チ資本ヲ種々ナル株式ニ散擴シ、斯クテ株主ノ危險及配當ヲ平均セシメルコトニヨリテ企業ノ健全ナ發達ノ爲メ盡シテキルモノモアレバ、又他ニハ設立ノ當初カラ詐欺的デ經營ハ誤マラレ、其仕事ハ其當然ノ職分ノ範圍外ニ逸出セルモノモアル。雙方トモニ經營ニ就テ非常ナル艱難ヲ嘗メツクシタケレド、之ガ爲ニ、雙方ヲ混淆スルコトハヨクナイ、又或種ノモノガ公衆ノ信用ヲ濫用シ事業ノ範圍ヲ超越シタトイツテ、他ノ良種ノモノカラモ信認ヲ奪ヒ、ソノ固有ノ職分ヲ妨ゲテハナラヌ、實ニ上述セル如ク、信託會社ノ事業程合理的ニシテ批難スル點ノ少キモノハナイ、然ルニ非難スベク、同時ニ此種會社ノ多數ヲ凋落セシメタル所以ノモノハ、一二彼等ガ正

規ナ經營方法及通常ノ利益ニ満足セナカツタコトニ原因スル。大配當ヲ爲サントスル目的ト又大ニ發起人株ノ制度ノ直接結果トシテ——此制度ハ大ナル且直ニ利潤ヲ提供スル如キ種類ノ事業ヲ獎勵スル效果ヲ有スルモノデアツタ——多クノ場合、其主要職分ヲ次位ニ貶シテ會社發企ト株式引受トニ猪進シタノデアツタ。其慣用手段ノ一ハ、一見競争者ノ如ク見エタ同種ノ會社ヲ發企スルノデ、併シ實ハ之ニ依テ古キ會社ノ反古同然ノ多數ノ株券ヲ片付ケル目的ヲ以テ設立セラレタノデアツタ。又ハ重役、其他縁邊ノ者ガ持テ餘シテキル紙屑ニ等シイ古株ヲ賣拂フ特別ノ目的ヲ設立サレタ會社モアル。明ニ如斯手段ハ永續ハセズ、價格ノ維持サレテ創立者モ株主モ大ナル利益ヲ得テ居タ間コソ無事デアツタガ、價格下落ト共ニ會社ハ次第ニ倒レ始メ、或者ハ恢復ノ望ナキマデ敗滅シ、他ノ者ハ大ナル不名譽ヲ負フテ打倒レタ、是ヨリ得ベキ教訓

ハコレヲ會社ハ總テ詐欺的デアリ、其存立ノ主目目的即チ危險ト利潤トヲ廣キ範圍ニ推擴シテ各企業ノ損益ヲ平均セシムルコトハ期待シ難イトイフノデハナイ、十五六年前ノ金融的信託會社ノ眞ノ教訓ハ寧ロ斯カル會社ハ其經營、支配ノ方法ヲ改善スベシトイフニ在ル。即チ其重役ノ選任ニ一層ノ用意ヲ拂ヒ、其注目ヲ正當ナル事業ニノミ局限シ。徒ニ縁邊結託シ又ハ他不健全ナル會社ヲ扶助スル如キコトヲ回避シ、會社發企ノ事業ハ、其ノ賭スベキ資本ノ少ナル會社ニ委セテオクガヨロシイ。

註、(8) "Trust Companies" in U. S. A.

(六)募債仲立人

"Issuing House"

信託會社ニ其正シキ業務ヲ守レトイツタ苦言ハ、均シク金融界ノ仲介者ノ最後ノ種類タル此金貸業者ニモ適應セラレルノデアアル。此媒介者ノ手ヲ經テ、實際上外國政府、公共團體ハ當英國

ヨリ借財シ、又、理論上、其手ヲ經テ利子ヲ支拂フノデアル。此仲介業ヨリ生ズル利便ノ如何ニ大ナルカヲ知ラント欲セバ、カノ去ニシ日、大藏大臣ガ「倫敦市長ヤ市參事會員ナドヲ隨ヘテアチラコチラトホウヅキマハリ、莫大小商カラ百磅、鐵物商カラ二百磅ト借リアルク」ト目ニ見エルヤウナ史家マコーレーノ寫生文ヲ回想シ更ニ今日大ナル金融業者ノ周旋ニヨリ、如何ニ迅速ニ且圓滑ニ諸國政府ノ公債ガ成立スルカニ想及ブガヨイ。外國政府ハ借ラントシ、英國ノ資本家ハ貸サントス(9)、而シテ此兩者ハ仲介者ノ媒介ニヨリテ接觸スルノデ、仲介者ハ當ニ貸付人カラ借受人ニ金ヲ移轉スルノミナラズ、其主タル取引及ビ後日利子支拂ニ關スル總テノ面倒ナ手數ヲ當事者ニ代テ擔當スル。故ニ借手ノ事情、國情ガ充分公債ヲ募ル理由アル場合ニ於テハ、此仲介者ニヨリテ斯ク演ゼラレル役割ハ何レノ點ヨリスルモ利益アルモノデ、彼ハ境遇

ノ生メル正統ナル產物デアル。併シ此制度ノ缺點ハ、多クノ場合ニ於テ、此自然ノ順序ガ對ナルコトデアル、借ラントスル希望ガ仲介者ヲ生ゼシムルニアラズシテ、彼等ノ存在ガ借手ヲ生ゼシムルノデアル。Bagehot 氏ハ其作中ニ散見スル多クノ暗示的ナル語ノ一ニ於テ「英國ノ半開國ニ於ケルハ尙倫敦金貸業者ノオツクスフオード、ケンブリッヂ大學ノ學生ニ於ケルガ如シ」ト言テキル、而シテ此言ハ正ニ現在ノ議論ヲ説明スルモノデアル、吾人ハ如何ニ「機會ハ盜賊ヲ作ル」モノデアルカヲ知ル、而シテ多クノ場合、其ノ固有ノ職分ハ借受人ノ正シキ且相當ナル缺乏ヲ供給スルニアル所ノ仲介者ガ、却テ會々誘惑トナリ、熟慮ト事情トガ正當トスル範圍ヲ超ヘテ不必要又ハ多額ノ公債ヲ募集スルコトニナル、例ヘバ「the Barings」トカ、其他是ト同等ニ高名ナル金融商店ノ仲介ナカリセバ、南米ガ千八百九十年以前英國ヨリ借入レシガ如

ought to be able to 'put his money into something safe that will yield 5 per cent.'

(七) 結 論

キ巨額ノ借款ヲナシ得シヤ、又濠洲ノ銀行恐慌ガ、若シ知名ナル濠洲ノ一銀行家ノ言ヲ藉リテ謂ヘバ「英國ノ資本ニヨリテ誘惑サレタ」ノデナカツタナラバ、又一部分ハ、多クノ植民地銀行ノ代理店ヲ通サナカツタナラバ、恐慌ハアレホドマデノ程度ニ達シタデアロウカ、善惡多數ノ例證中ヨリ特ニ此二例ヲ引用スル目的ハ、決シテ、國際的資金融仲介業者ハ必然的ニ有害ナリ、又資金ヲ其潤澤ナル邦國ヨリ之ニ缺乏シテキル國ニ移動セシムルニ當リ此等仲介者又ハ銀行家ハ不適當ナル水道ナリトイフノデハナイ、唯ダ外國ノ借受人モ本國ノ貸付業者モ更ニ一層慎重ナル態度ヲ取り、斯カル仲介業者ノ働ヲ其正當ナル範圍ニ止メ、此關係者總テニ有利ナル此貴重ナル組織ノ濫用ヲ防グベシト謂フノニア

註 ⑥ Bagehot, *op. cit.*, p. 133: "An Englishman—a modern Englishman at least—assumes as a first principle that h

上段論ジ來レル金融界仲介業者ノ表ハ、以テ盡セリトハイハヌ、又、其各階級ノ何レノ論述モ餘蘊ナシトハイハヌ、唯ダ吾人ノ要ムル所ハ此數種ノモノハ最重要ノモノノ中ニテアリ、又或程度マデ、殘餘ノモノノ代表的ノモノデアリ、說明的ノモノナリト認メ得ルトイフ點ニアル。又各場合ニ說明シタル特徴モ比較的重立チタルモノタリ得タト希望スルノデアル。無産階級“proletariat”、中等社會“bourgeois”、資本家“capitalist”、ナドトイフ名辭ト共ニ屢々或種ノ社會改良主義ノ口舌ニ上ルノ光榮ヲ分ツ「仲介者」“middleman”トイフノ語辭ハ、兎ニ角金融ノ關スル限り、彼等ノ用語中ノ前數語ト同ジク非常ニ醜惡ナルモノノ如ク取扱ハレテキルガ、事實上ソレホドニ醜陋ナルノ形容語句ニハアラズト

思フ。總テノ郷土スライアニ於テ熾烈ニ表ハレテキル極端ニ専門的ニナリユク傾向ハ、ワガ信用ノ世界ニアリテモ依然行ハレテキル、而シテ仲介業者ノ排議ニ費サレル無效ノ精力ハ、屢々徒ニ彼ヲ改良ニスルノ努力ニ費ヤシタ方ガ得策デアロウト思ハシメル、流行ノ政治上語デイヘバ、媒介業者ハ、廢絶エンゲットセラルベキモノニアラズシテ、改善ブアドセラルベキモノ、又新神學ニ新シキ語法ヲ覓メルナラバ、仲介業者ニ課スベキ責罰ハ、復讐グインデ的ナルヨリモ寧ロ救済リデンプチヴ的ノモノデアラチバナラヌ、若シ金融界ノ仲介者ガ其活動力ヲ自家ノ勢力範圍内ニ限り、其手ヲ經テ營マレル取引ニ對シ恰好ノ利潤ヲ以テ満足シ、關係雙當事者ノ利益ニ深甚ナル注意ヲ拂フテ、其二重ノ職分ヲ遂行スルナラバ——トニカク商業ガ今日ノ個人性ノ形態ニ於テ經營セラレテヤル限り——金融仲立人ハ、先ヅ暫クノ間ソノ職業ガナクナルトイフコトハナイデアロウ。(二、五、二六)